11-⑥ 永遠の喜びに至るには

<永遠の喜びに至るには>(P273~)

-あなたの理性的な心のみを使う

内的な自由への進軍は、家へ着くためにいくつもの川を渉らなければならない人のようだ。これら一連の川にはいろいろの名がついている、頑迷、模倣、不自然さ、臆病など。もし彼が水に入り、渉ることを拒むならば、家

われわれが食欲と性欲による痛ましい渇望を超えてきたとすれば、なるほどそれは長い道をあるいてきたわけだ。こうして自由へと解放された人は自分自身に対して、おれは何が要るとは告げないし、また告げる必要もおぼ

プロティノスはこのことを次のように説明している

起とってくる欲望は、それがなんであれ、決して下劣な方向へは進み得ない。疲労回復のための食物や飲物ですら、魂の注目を外れたところでおとなしく横たわっている。そして性欲もまた同じだ●●・・・・それは自然の

われわれが人間的な定義による成功を超えて上昇しなければならないことは、すでに学んだ。では、『スーパーマインド』の成功の定義はどうか? 秘教的な事実を理解しようとするくつろいだ、親しみにみちた努力は成功で

天上的な成功へ達するテクニックはすこしも複雑ではない。困るのはただひとつ、人間が辛抱づよく修行することを嫌うことだ。たとえば、われわれは自分自身のなかの自己敗北的な行動に気づいて、これを弁護することを

人間は獲得されたネガティブな性癖を解除することを拒むため、重苦しい生を生きている。ちょうど重たい魚をくわえて翔べないカモメのようなものだ。

しかしマイスター・エックハルトは、自由な心はあらゆることを成い遂げるかをもっていか、とわれわれを激励している。

実際の状況では、それはどんなふうに作動するのだろうか? ここで、不愉快な仕事を気楽な煩わしさのないものにするすばらしい方法をお教えしよう。これを、あなたの情動を使ってではなく、ただあなたの心を使って行な

あなたを自由に解き放つ真理を理解し、かつ経験することは、純粋な永遠のよろこびである。

Revision #2
Created 7 November 2024 07:24:15 by ゆう
Updated 7 November 2024 07:25:56 by ゆう